－今号の目次－

* 令和3年度全国保育組織正副会長等会議（Web）申込開始 １
* 教育・保育施設長専門講座プログラム（２）（３）申込受付中！ 3

-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**◆ 令和３年度全国保育組織正副会長等会議（Web）　申込開始 （全国保育協議会）**

来たる令和3年12月1日、都道府県・指定都市保育組織の代表者・役員がオンラインでつながり、全国保育協議会および都道府県・指定都市保育組織が、コロナ禍における保育をとりまく課題に組織としていかに対応すべきか、また今後の保育所・認定こども園等の在り方をどのように考えていくべきか、その方策等について共通認識を図ることを目的に標題会議を開催します。

本会議では、下記3つのテーマから選択し、保育を取り巻く課題や取り組みについて、分科会による情報共有・意見交換を行うプログラムを設けています。本会議の詳細については、下記概要をご参照ください。

テーマ①：地域における人口減少に関する現状、保育運営上の課題・取り組みについて

テーマ②：コロナ禍における保育について

テーマ③：保育人材確保に関する現状・課題・取り組みについて

申込締切は11月18日となっています。お早めにお申し込みをお願いいたします（各県・市の保育組織より一括でのお申込みをお願いいたします）。

■ 申込専用サイト（株式会社日本旅行）

<https://va.apollon.nta.co.jp/r3_seihukukaityo/>

1. 期　日　　令和3年12月1日（水）　13：00 ～ 17：00
2. 開催方法　　Zoomを使用したオンラインによるライブ配信

※グループ討議を実施します。カメラ・マイク機能搭載のパソコンを一人1台ご準備いただきますようお願いいたします。

※パソコン・ネット環境等のご準備が難しい場合は、各保育組織事務局に参集していただく等によりご対応くださいますようお願いいたします。

1. 参加対象　　① 各都道府県・指定都市保育組織正副会長、専門部会担当責任者

② 各都道府県・指定都市保育士会会長

③ 各都道府県・指定都市保育組織事務局担当部課長ならびに職員

※一都道府県・指定都市保育組織あたり上記①～③で原則合計3名まで（定員を250名とし、ご希望により先着順で最大5名までご参加いただけます。パソコン・ネット環境のご都合により参集して参加される場合は、参加上限人数の設定はございません）。

1. 参加費　　１名につき3,000円（税込）

※パソコン・ネット環境等の準備が難しく、１台のパソコンで複数名参加される場合でも参加費は参加人数分発生します。

※Web接続にかかる通信等費用、ご地元での移動等に伴う費用等は各保育組織にてご負担ください。

【プログラム】

|  |  |
| --- | --- |
| 12：00～ | **受付** |
| 13：00～13：10 | **開会挨拶** |
| 13：10～13：50 | **行政説明**　厚生労働省子ども家庭局保育課 |
| 休憩（10分） |
| 14：00～15：00 | **基調報告**・「全国保育協議会の取り組み」と改訂「全保協将来ビジョン」について全国保育協議会　会長　奥村　尚三・「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」と、全保協の保育施策検討特別委員会における人口減少地域の保育課題の検討状況等について全国保育協議会　副会長　森田　信司・「令和3年度　都道府県・指定都市保育組織実態調査」報告　　全国保育協議会　地方組織部会長 風間 嘉信 |
| 休憩（15分） |
| 15：15～16：45 | **分科会（グループに分かれての情報共有・意見交換）** |
| 16：50～17：00 | **閉会挨拶** |

※詳細は全国保育協議会ホームページ掲載の開催要項をご確認ください。

■ 全国保育協議会ホームページ > 研修会・大会等案内

　 <http://www.zenhokyo.gr.jp/kensyu/kensyu.htm>

**◆ 教育・保育施設長専門講座プログラム（２）（３）**

**申込受付中！ （全国保育協議会）**

全国保育協議会では、施設長の資質向上を図るとともに、保育所・認知こども園等の地域に根ざした展開について学ぶため、「教育・保育施設長専門講座」を実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンライン配信にて開催することといたしました。

これまでの集合型のプログラムと同じテーマ・講師陣が、講義を行います。

本プログラムは、事前学習（動画視聴等）と当日のライブ配信によって構成され、動画配信の何度も繰り返し視聴できる良さと、講師や参加者と双方向のやりとりを実施できるライブ配信の良さの両方を取り入れたものとなっています。ぜひ、ご参加ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 【概要】 | プログラム（２） | プログラム（３） |
| 日程 | 事前学習 | 令和3年12月20日（月）～令和4年1月17日（月） | 令和4年2月9日（水）～3月10日（木） |
| ライブ配信 | 令和４年1月17日（月）～18日（火） | 令和４年3月9日（水）～10日（木） |
| 実施方法 | オンライン開催事前学習（動画視聴等）＋ Zoom を使用したオンラインによるライブ配信 |
| 受講料 | 会員　35,000円会員ではない方　40,000円 | 会員　35,000円会員ではない方　40,000円 |
| 申込締切日 | 令和３年**12**月**６**日（月） | 令和４年**１**月**26**日（水） |
| ■プログラム（２）（３）申込専用サイト（名鉄観光サービス株式会社）<https://www.mwt-mice.com/events/2021hksenmon2>　 |

【プログラム（２）内容】

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ・講師 | 内容 |
| 保育をめぐる国の動向【行政説明】厚生労働省子ども家庭局保育課 | 保育をめぐる国の動向について学び、教育・保育施設長として求められる、施策に対する知識を深める。 |
| 配慮が必要な子どもの理解、障害児保育の理解筑波大学　教授安梅　勅江　氏 | 多様な子どもと保護者のニーズに応えるための専門性の構築について学ぶ。 |
| 保護者〔家庭〕支援の理解武庫川女子大学　教授倉石　哲也　氏 | 保護者支援の意義について理解した上で、保護者とのパートナーシップによる保育の方法や、さまざまなニーズを持つ保護者への支援、さらには課題を抱えた保護者への対応について、専門性を高める。 |
| スーパーバイザーとしての力量を高める大谷大学　名誉教授佐賀枝　夏文　氏 | 相談援助活動の原理と原則をおさえ、教育・保育施設等における相談援助技術とその体制の構築について理解を深める。 |
| 全体的な計画の編成と展開の評価大妻女子大学　教授小川　清美　氏 | 全職員の共通認識のもと、計画性をもって保育を展開するための全体的な計画の編成と展開、また評価について考える。※自園のパンフレットを使用します。ご準備ください。 |
| 地域子育て支援の展開と相談機能の充実日本社会事業大学　教授金子　恵美　氏 | 地域に向けての説明責任（情報発信・社会的認知）や、地域の専門職や地域住民と連携・協働を深めていくための基本的技術などをび、地域社会資源の育成や、地域ニーズの把握等の知識と方法を理解する。 |

【プログラム（3）内容】

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ・講師 | 内容 |
| 保育をめぐる国の動向【行政説明】厚生労働省子ども家庭局保育課 | 保育をめぐる国の動向について学び、教育・保育施設長として求められる、施策に対する知識を深める。 |
| 保育事業経営・マネジメントの戦略大阪府立大学　教授関川　芳孝　氏 | こうした計画や戦略、危機管理を具体的に展開していくために、ヒト・モノ・カネなどの経営資源を踏まえ、どのように課題解決に向けてリーダーシップをとるべきかについて考える。 |
| 経営課題としての人材確保・育成㈱ナレッジ・マネジメント・ケア研究所　統括フェロー宮崎　民雄　氏 | 経営者および管理者として、職員の確保・定着のための魅力ある職場づくりと、職場において職員のやる気をひきだし、成長を実感できる体制づくりについて学び合う。 |
| 業務改善と福祉サービス第三者評価大阪保育総合大学　教授大方　美香　氏 | 業務改善の視点をもって、質の向上をめざすことを考えるとともに、保育の質をはかる指標としての福祉サービス第三者評価について理解を深める。また、園での取り組み( 自己評価の重要性等) について、施設長が職員とともに業務改善をめざす方向性を考える。 |
| 教育・保育施策における災害対応東北福祉大学　教授都築　光一　氏 | 全職員の共通認識のもと、計画性をもって保育を展開するための全体的な計画の編成と展開、また評価について考える。※自園のパンフレットを使用します。ご準備ください。 |

※詳細は添付の開催要項をご確認ください（開催要項は下記全国保育協議会ホームページにも掲載しています）。

■ 全国保育協議会ホームページ > 研修会・大会等案内

　 <http://www.zenhokyo.gr.jp/kensyu/kensyu.htm>